



社会福祉
法人

一人ひとりに愛と希望を

九十九里ホーム

第 21 号

平成23年 8 月 5 日発行

ひとつぶの麦

社会福祉法人
九十九里ホーム
〒289-2147
千葉県匝瑳市飯倉21番地
TEL 0479-72-1131(代)
<http://www.99-home.com>



(聖マーガレットホーム 澤田 明江さん)

**「わたしは彼の道を見た。わたしは彼をいやし、休ませ
慰めをもって彼を回復させよう。民のうちの嘆く人々のために」
— 旧約聖書「イザヤ書 第57章18節」—**

聖マーガレットホーム入所者の澤田明江さんがスティックをくわえてパソコンで今回描いてくださったのは、青空のもとに力強く咲いているヒマワリです。
この度の東日本大震災で犠牲となられた方々の魂の平安と今も苦しい生活を余儀なくされている被災者の方々の心の平安を求めて祈ります。ヒマワリは放射能汚染された土壌を回復するために有効な植物とされています。青空のもとにこのヒマワリが力強く立っているように、被災された方々の心にも一日も早く復興への希望の光が差し、力強く再び立ち上げられることを願い祈りたいと思います。

日本聖公会八日市場聖三一教会 管理牧師
九十九里ホーム・チャプレン 司祭 ルカ 片山 謙

当法人創立75周年記念事業について

当法人は、昭和10年にA. M. ヘンテ女史によって設立され、昨年で創立75周年を迎えました。この記念事業として、特別養護老人ホーム松丘園の改築、地域密着型特別養護老人ホーム瑞穂園の新築、特別養護老人ホーム第二松丘園の増築を実施しております。平成23年度中にはすべての事業が終了し、今後とも、80周年、100周年に向け、医療、介護、福祉活動を通じ、地域に貢献できるよう頑張っております。

—地域から愛され信頼される施設を目指して— 特別養護老人ホーム松丘園が生まれ変わりました



松丘園外観

特別養護老人ホーム松丘園の改築工事が本年3月末一部を残し終了し、4月1日には入所者の方の引っ越しも無事終わり、新居にてサービスがスタートいたしました。新居は、定員が50名増えて150名となり、内28名がユニットケアとなっています。建物の概要は、1階が管理棟、2階から5階までが居室棟で、5階は全室個室のユニットケアのフロアです。各フロアともゆったりとした造りで広い空間があり、今までにも増してご利用者のニーズにあったケアを行うことができます。ユニットケアとは、利用者個々の暮らしをサポートする個別ケアの一つの方法です。一人ひとりが大事にしてきた暮らしや生活習慣を大切に、愛着のある家具等を居室に置くことで気持ちの安らぎを得られるなど、入所してもできるだけ同じように暮らしていただけるようにする介護のありかたです。眺望は全館ともに素晴らしく、特に、5階は緑、風、光に恵まれ、その中での暮らしはゆったりとした時間を過ごすことができます。

●ご利用対象者

○入所

介護保険の要介護認定を申請し、要介護1～5と認定された方

○短期入所（ショートステイ）

介護保険の要介護認定を申請し、要支援・要介護1～5と認定された方及び市町が利用を認めた方

●提供サービス

○入所

○短期入所（ショートステイ）



ベランダからの眺望



ゆったりとした個室

●定員

○入所 150名

○短期入所 10名

●ご連絡先

○住所

〒289-2147

千葉県匝瑳市飯倉17番1

○TEL

0479-73-2115（代表）

○E-mail

matu_99@aqu.aqua.ocn.ne.jp



車椅子に座ったまま入浴できる浴槽

—より充実したサービスの提供を目指して—

地域密着型特別養護老人ホーム瑞穂園の新築工事、特別養護老人ホーム第二松丘園の増築工事、順調に進行中

松丘園の改築工事と共に、当法人創立75周年記念事業として、地域密着型特別養護老人ホーム瑞穂園の新築工事と特別養護老人ホーム第二松丘園の増築工事も進行中です。2月25日(金)には瑞穂園にて、3月28日(月)には第二松丘園にて、それぞれ起工式が執り行われました。

瑞穂園の起工式には、匝瑳市の太田安規市長をはじめ関係各方面の皆様にご出席いただき、司式は銚子諸聖徒教会の片山司

祭、補式は八日市場聖三一教会の友寄執事がお勤め下さり、工事を祝福し、そこで働く人を守って災害を防ぎ、無事に完成することができるよう皆でお祈りしました。

地域密着型特別養護老人ホーム瑞穂園は、入所定員29名、併設のデイサービスセンターは定員25名で、匝瑳市在住の方々にご利用の対象となります。小規模の特性を生かしご利用者一人ひとりの生活をきめ細やかに支援してきます。開設は本年11月の予定です。

また、3月28日(月)には、特別養護老人ホーム第二松丘園の増築工事の起工式が、横芝光町斎藤隆町長代理、鈴木孝一副町長はじめ、関係各方面の皆様にご出席いただき執り行われました。横芝光町と当法人が協力して取り組む第二松丘園整備事業は、鉄筋コンクリート造2階建て、1階にはデイサービスセンター(一般・認知症)・グループホーム・地域包括支援センター・夜間対応型訪問介護、2階には、特養入所50床(内10床ユニット型)、ショートステイ20床と



第二松丘園完成予想図



瑞穂園完成予想図

なります。新しい建物には様々なサービスが整備され、地域包括支援センターには研修室もあり、委託を受けている予防事業も今以上に充実した内容の教室が出来るのではないかと考えております。また、地域の皆様の交流スペースもでき、地元の皆様が気軽に安心して足を運んでいただき、どの様な相談にも対応できる施設作りを目指してまいります。開設は平成24年4月の予定です。

レポート

東日本大震災への支援について

本年3月11日に発生した東日本大震災では多くの方々が亡くなられるなど、多大な損害が発生いたしました。当法人では被災された方々を支援するため、義援金の募集などの支援活動を行っております。

当法人の各施設では、震災復興支援募金として、職員や御面会に来られたご家族様から窓口にて募金を募るとともに、各施設も負担し、全体で200万円の義援金が集まりました。

この義援金は、日本聖公会をはじめ、日本看護協会、千葉県医師会、全国老人福祉施設協議会、全国社会福祉施設経営者協議会の5団体を通じて被災地に贈られるようにいたしました。



野菜販売を行う聖マーガレットホームの利用者

また、聖マーガレットホームの利用者が、自分達にこの震災で何か役に立てることは無いかと話し合い、日中活動の野菜販売や、花の種を育て、その苗木を販売した収益金の一部を旭市災害義援金として寄付しました。

当法人では、今後も募金活動などを通じて、震災復興に役立てていきたいと考えています。

九十九里ホーム病院の診療放射線技師である都祭広一氏は、日本放射線技師会の呼びかけと福島県警の支援要請に応じ、津波と原発事故で多大なる被害を受けた福島県に4月24日から29日まで赴き、災害派遣活動を行ってきました。具体的活動内容は、ご遺体の放射線サーベイと除染の指示、現地スタッフの被爆管理、会場周辺の放射線管理等です。厳しい状況の中、現地スタッフとの協力の下、専門知識を活かした貴重な支援活動でした。年長いた父親をかばうように車内で発見された男性や、中学校のジャージをまとったご遺体からは氏名まで読み取れたそうです。ご遺体のお顔を拝見するのはとても辛かったそうですが、活動にあたった誰もが「ご遺体を一刻も早くご家族のもとに届けたい」という思いで作業に当たったそうです。

また、千葉県では、大震災による津波や液状化の被害に加え、農林水産物の買い控えや観光・イベントの自粛などが続いており、経済活動にも影響が広がっています。このような状況の中、千葉県や県内企業が県産品や観光地をサポートし、千葉を元気にしようというキャンペーン「がんばろう！千葉」が開始されました。当法人も、このキャンペーンの主旨に賛同し、「がんばろう！千葉」応援隊に参加いたしました。様々なイベント・行事の時や各種印刷物等に同キャンペーンのシンボルマークを使用するなどして、少しでも千葉が元気になるよう、この活動の輪を広げてまいりたいと思います。当法人は、今後も支援活動を続けてまいります。



現地で支援活動を行う都祭技師（左）

家族介護教室を実施

～日向の里～

介護老人保健施設日向の里では、一般の方、サービスを利用されている利用者の家族の方を中心に家族介護教室を開催しております。

テーマは、主に開催後のアンケートを基に、参加者の要望から抽出したものを参考に各担当（介護・看護・リハビリ・栄養士・事務・相談員）で考え行っています。参加者は毎回10～20名程度で、参加者の方からは、「直接聞くことができ参考になった」「やり方も手とり足とり教えてもらえるのでわかりやすかった」等の意見が聞かれ、満足して頂いているものと感じています。

4月23日（土）には、今年度第1回となる家族介護教室を開催しました。今回は、「在宅での介護見直してみませんか？～移動方法・リハビリ体操～」をテーマに、理学療法士を

講師に行いました。参加者は24名と多くの方に参加いただきました。職員で移動介助を実演し、参加者にも実際に介助を体験してもらいました。一般の方より、他の介助方法も教えて欲しいとの要望が聞かれ、実際に自宅で悩まれている介助に答える場面もありました。

今後も、日向の里では、家族介護教室を通じて地域交流を図ってまいります。



瑞穂園にかわいいお客様が

～須賀保育園の子供達と交流会～

1月24日、匝瑳市内にある須賀保育園（園長椎名千代美様）の子供達が瑞穂園に遊びに来てくれました。須賀保育園と瑞穂園は20年近く交流会を行っています。以前は運動会や遊戯会に入所者がおじゃました事もありましたが、年齢を重ねるとともにそれも難しくなり、最近では子供達の訪問を心待ちにしています。



子供達のかわいらしいフラメンコ

子供達は遊戯会や劇を披露してくれました。また、歌に合わせて入所者の肩を叩いたり手



子供達との楽しい触れ合い

をつないだり大活躍でした。入所者は孫や曾孫のような子供達と触れ合い、とても嬉しそうでした。

須賀保育園の皆様、本当にありがとうございました。これからも、よろしくお願致します。

第18回ふれあいギャラリーを開催



今年で18回目を迎えた当法人の「ふれあいギャラリー」は、本年1月25日、匝瑳市八日市場公民館を皮切りに法人内各施設を移動展示をしてまいりました。

例年通り、入所・通所の利用者の皆様の作品に加え、今回は各施設で御指導いただ



いる講師の方々の作品も併せて特別展示コーナーにて紹介させて頂き、好評でした。これからも「ふれあいギャラリー」を通じ、当法人各施設の活動を地域の皆様にご覧頂くと共に、地域交流の一助となればと考えております。

ご支援ありがとうございます ボランティアのご紹介

平野良子様（松丘園ボランティア）

NHK福祉講座で勉強を始め、平成5年より松丘園にて実習教育を通してボランティア活動を始められました。入浴、洗濯場のお手伝い、その後お年寄りの手先のリハビリテーションを兼ねてフラワーアレンジメントを毎週水曜日にご指導いただいております。麻痺のある方も参加して、利用者の方々も楽しみにしています。

松丘園全体で約50名のボランティアの皆様にご活動いただいております。現状では主に洗濯物の整理をお願いしておりますが、ご利用の方々とは直接ふれあいが出来る活動、傾聴や余暇活動に興味のある方の参加も大歓迎です。

<問い合わせ先>

特別養護老人ホーム松丘園 相談員 山本

TEL 0479-73-2115



新入職員研修会が開催されました

4月16日(土)と17日(日)に、当法人の新入職員研修会が開催されました。今年は松丘園の増床に伴う採用もあった為、例年より対象者が多く、58名の新入職員が参加しました。会場は、完成したばかりの松丘園の機能訓練室でしたが、広くて大変素晴らしい環境の中で研修を行うことができました。

2日間、参加者は真剣に研修内容を受講し、自分の目標に向かって歩み始めようと目を輝かせていた職員も大勢いました。緊張しながらも、大変有意義な研修会を行うことができました。主な研修内容は、井上理事長の「九十九里ホームの歴史と現状と未来」に始まり、業務を行うにあたっての心構えや基本的知識など

幅広い内容でした。

入職間もない職員には1日も早く職場に慣れてもらえるように、そして、『初心忘れるべからず』の如く、時には今回の研修で学んだ事を振り返り、心新たに業務に臨んでいただきたいと思います。



バレーボール同好会3連覇達成

平成22年11月27日、12月12日の2日間にわたって、第5回医業健康保険組合被保険者バレーボール大会がJFE千葉体育館で開催されました。男女混合6人制で35事業所34チームの中で九十九里ホームバレーボール同好会が前人未踏の3連覇を達成しました。大会が

始まる前から「今年も打倒九十九里ホーム！」と闘志を燃やすチームもみられ、熱戦が繰り広げられました。

今回の大会は前回準優勝チームが1回戦で敗れるなど波乱の展開での幕開けでした。私たち九十九里ホームは新メンバーが加入し戦力を上げて挑みました。1回戦で強豪の玄々堂君津病院との対戦でしたが、フルセットで勝ち、その後も苦戦しながらも優勝を勝ち取りました。

バレーボールはチームワークが大切だと思います。どのチームも回を重ねるごとにチームワークが良くなってきていますが、九十九里ホームもチームワークが勝利に導いたと思います。来年度も最高のチームワークで大会4連覇を目指していきたいと思っています。今後とも応援よろしくをお願いします。



助成事業の報告

中央競馬馬主社会福祉財団より車両の寄贈

聖マーガレットホーム

中央競馬馬主社会福祉財団の助成により新しい車両（ニッサン・セレナ）を寄贈していただきました。安全運転を心掛け利用者の送迎などに活用させていただきます。ありがとうございました。



クリーンライフみのりの募金箱よりの寄贈

聖マーガレットホーム

千葉県共同募金会を通じて「クリーンライフみのりの募金箱」による寄付金をいただき、「楽しく花だん」を4台購入しました。

車椅子のままでも作業が楽にでき利用者からも好評です。

きれいな花を栽培し大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



聖マーガレットホーム家族の会より福祉車両の寄贈

聖マーガレットホーム

聖マーガレットホーム家族の会より新しい福祉車両（スズキ・ワゴンR）を寄贈していただきました。安全運転を心掛け、利用者の送迎に有効に活用し大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



NHK 歳末たすけあいより寄贈

第二松丘園

平成22年度NHK歳末たすけあいの受配品として、千葉県共同募金会を通じて2台の吸引機を寄贈していただきました。近年、特養をご利用頂いているお年寄りの皆様の身体状況が重症化してきており、医療機器の必要性も高く、制度の改正により介護職員の医療行為が徐々に行えるようになってきています。

利用者の皆様に安心して生活して頂けるよう大切に使用させていただきます。



聖マーガレットホーム入所者の皆様より車椅子の寄贈

九十九里ホーム病院

聖マーガレットホーム入所者の皆様が野菜販売などの日中活動で得た収益金で、九十九里ホーム病院の外来患者様が利用する為の車椅子を5台寄贈していただきました。ありがとうございました。



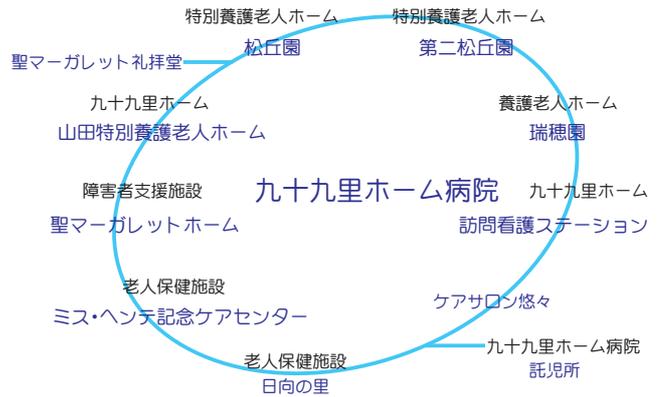
がんばろう千葉



チーバくん

当法人は
「がんばろう！
千葉」
応援隊に参加
しています

九十九里ホームネットワーク



新型骨密度測定装置を導入しました

～九十九里ホーム病院～

近年、若年層にもその対象が広がってきた骨粗しょう症は、早い時期からの治療が望まれます。

当院ではそのような事例にも対応できるよう、詳細な検査結果を得ることのできる全身型骨密度測定装置「QDRーディスクバリヤー」（米国 ホロジック社製）を導入いたしました。従来の手関節の測定に変わり、骨折リスクの高い腰椎と大腿骨を直接測定致しますので治療にも効果的に反映されます。また、当機種はX線の被ばく量も少なく安心して検査を受けて頂けますので、外来通院されている患者様はもとより、入院されている方や施設をご利用いただいている皆さまも、ぜひ転倒予防、骨折予防のプログラムの一つとして受診されてみてはいかがでしょうか。ご自身の骨密度を把握することにより、日常生活を健康的にお過ごし頂ければと思います。すでに受診して頂いた患者様からはご好評をいただいております。検査にあたりご希望やご不明の点等ございましたら、お気軽に医師・看護師・診療放射線技師へお尋ねください。

